

## 議 事 録

- 1 会議の名称 令和5年度 第2回 石岡市複合文化施設整備審議会
- 2 開催日時 令和5年7月3日(月) 午後1時30分から午後3時まで
- 3 開催場所 石岡市役所 1階メロディアスホール
- 4 出席した者の氏名  
大澤会長、山本(幸)委員、加藤委員、中根委員、富田委員、青木副会長、西牧委員、鴫田委員、原部委員、長谷川(貞)委員、長谷川(京)委員、土子委員、山本(真)委員、甲斐委員、渡邊委員、山口臨時委員  
事務局：市長直轄組織 浅田理事  
駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室  
瀬尾参事兼課長、富田係長、江原技幹
- 5 議題
  - ・パブリックコメントの実施結果について
  - ・統計データからみる石岡市の現状及び市民会館に関するデータ等について
  - ・その他
- 6 審議の内容
  - ・議事録のとおり
- 7 担当課の名称 市長直轄組織駅周辺にぎわい創生課 (複合文化施設整備推進室)
- 8 議事録
  - ・出席者が規定の定足数に達していることを報告(委員19名中16名出席)

(1) 議事

■事務局

これより、令和5年度第2回複合文化施設整備審議会を開会いたします。  
本日の出席委員は16名であり、本審議会条例第5条第2項に規定する定足数を満たしておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに会長よりごあいさつをいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■会長

今回は第2回目の審議会となります。

パブリックコメントの実施結果について、前回、指摘をしていただいたデータに関することについて、この2つを議論していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

■事務局

それでは議事に入りたいと思ひます。これ以降の議事につきましては会長にお願ひいたします。

■会長

議事に入ります前に、本日の会議の議事録署名人を指名させていただきます。委員と委員のお二人にお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

■会長

それでは、議事を進めます。議題パブリックコメントの実施結果について、事務局より説明をお願いします。

■事務局

石岡市複合文化施設整備基本構想(案)につきまして、広く意見をいただくためにパブリックコメントを実施しました。パブリックコメントは6月6日から6月26日まで3週間で行いました。受付件数は9件で9名の方からご意見をいただいた形になります。資料1に関しましては、意見を項目ごとに振り分けて、まとめているものとなります。その中で、本日は主だったところについてご説明をしたいと思ひます。

今回、基本構想(案)として意見をいただいたもので、取り入れるものは基本的には1点ございました。後ほど、ご説明したいと思ひます。

1ページのNo.2で施設の必要性というところについて、限られた財政状況の中で、複合文化施設を建てる理由は、というご意見に関しましては、文化芸術は人々の創造性を作り表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受けることができる心豊かな社会を形成するものとされています。市の財政規模に見合った施設整備というところで、文化芸術は必要です。ということで回答をしていき

たいと思います。

次に、基本構想案（案）はどのような位置付けなのかというものに関しては、今回、取りまとめた基本構想の施設の基本理念や基本方針を定めるとともに、今後の施設整備の検討を進めるにあたっての、課題等について整理したものです。という回答としています。建設地や整備手法の具体的なものに関しては、今後、定めていく基本計画の中で取りまとめていくという回答をしています。

続きまして、基本方針の部分に関しまして、文化施設にユニバーサルデザインを求める理由についてと市民に優しい、特にハンディキャップの方にもやさしい施設や環境づくりが求められていると思う。というご意見に関しては、新しい施設は、年齢や性別、障害等の有無にかかわらず、あらゆる人に来ていただきたいというふうに考えています。そのような施設になりたいというところで回答をしています。

次は、3ページになります。施設機能の部分に関して、No.5ですが、「1,000人を超えるホールは必要ないと思う。」というご意見がございました。こちらに関しては、「ホールの規模、座席数については、具体的な決定はしていません。今まで利用してきた石岡市民会館の座席数が965席でございましたが、今後の利用実績や、今後予定されている実施事業を踏まえながら規模については決定していきたい」ということを説明しています。

続きまして4ページになります。「施設維持管理を外部に委託した場合、どれくらいの金額を想定しているのか」につきましては、維持管理や外部委託をした場合でどれくらいの金額等は施設機能や規模、実際にどのような運用するかということが決まっていますので、こちらについては、今後発表していきたいと回答としています。

続きまして建設候補地の区分の中で、旧市民会館の場所を建設候補地としていない理由については、基本構想（案）の中に取り入れていきたいご意見としております。旧市民会館につきましては市有地ですが、敷地面積3,900平方メートルということで、新たな施設を建設するには手狭な状況です。また、複合文化施設を建てるにあたりましては、石岡市立地適正化計画、石岡市中心市街地活性化基本計画の中で、都市機能誘導区域、中心市街地エリアに含まれておらず、石岡市の計画から外れています。こちらに関してはご指摘の通り、もともとあった市民会館の場所を使わないのはなぜだと思うのが、普通の考えだと思いますので、基本構想の中に取り入れて、候補地としない理由として対応していきたいと考えています。No.2、No.3に関しまして、建設候補地はどちらがいいというようなご意見に関しましては、今後、施設の運営（実施事業）、機能や規模とともに、各候補地における土地利用についても検討を重ね、最終的に建設候補地を決定していきますという回答をしております。

次に5ページのNo.2で財源の確保についてです。100億を超えるプロジェクトなのかというご質問がございました。こちらに関しては、具体的な規模と整備する施設機能等と合わせて、概算事業書を算定していく予定です。基本構想では全体的な取りまとめをしているところですので、今後についてはその財政規模に見合った施設整備をしていきたいと回答しています。

こちらにもパブリックコメントの取りまとめとその回答に関してはホームページ等で掲載をしていきたいと考えています。この中で基本構想（案）に取り入れる意見としては、建設候補地の旧市民会館の場所についての記載を1点追加したいというふうに考えています。

#### ■会長

ただいまの説明に関してご意見質疑をしたいと思います。

#### ■委員

1ヶ所、基本構想（案）に明記するという部分について、一般の人にとって石岡市民会館脇の駐車場は市が所有している土地だと思っている人は多いと思います。以前、市民会館を使わせていただいた時に駐車場部分は、市が所有している土地ではなく、他の所有者から土地を借りて駐車場として利用しているという話を聞いたことがあります。そのようなことであれば、その旨を明記した方が市民にはわかりやすいのかなと思います。また、駐車場用地を確保することが困難であることが市民に伝わりやすいと思います。

#### ■事務局

駐車場用地に関しましては、借地として使っていた状況でした。現在は別の用途で使われていますので、借地はできない状況です。委員の意見につきましては、記載したほうがいいのかと思いますので、事務局で記載について調整したいと思います。

#### ■会長

基本構想（案）につきましては、パブリックコメントの結果等を反映し、修正をさせていただきます。審議会での議題としては、今回をもって一旦終了とさせていただきたいと思います。

次回以降の審議会につきましては、この基本構想（案）を基に基本計画の策定に向けた話し合いを行っていききたいと思います。

それでは次に、統計データからみる石岡市の現状及び市民会館に関するデータ等について、事務局より説明をお願いします。

#### ■事務局

統計データからみる石岡市の現状につきまして、1ページは石岡市の人口データとなっています。平成17年から令和4年のデータとなっております。平成17年は81,124人の人口が令和4年には71,173人となっております。合併以降に1万人以上減少しているというのが現状でございます。

次に6ページは石岡市の人口データ年齢5歳区分別人口分布（人口ピラミッド）について65歳から74歳の男性、女性が一番多いということが見てとれます。

次に7ページは石岡市の人口データ出生数と出生率について、平成17年からは発表されました平成17年から令和3年のデータとなっています。平成17年で689件だった出生数が令和3年は335件となり、大きく減少しています。

次に9ページになります。石岡駅、高浜駅の一日平均乗客数の推移になります。新型コロナウイルス感染症拡大前の一日平均乗車数は、JR石岡駅は約5,600人、JR高浜駅は約1,150人となっています。

次の10ページ、11ページ、12ページ、13ページにつきましては、小学校の児童数、中学校の生徒数、高等学校の生徒数となっております。市内認定こども園、保育園の児童数は100人程度での減少、小学校は5年間で203人減少。中学校は、5年間で258人減少。高等学校は5年間で89名減少ということで、それぞれ減少傾向となっております。

次の14ページに関しましては、市内在住者の通学状況でございまして、石岡市から市外へ通学する人、他市から石岡市に通学する人の資料になっています。こちらに関しては、石岡市から市外に出ていく人が多いということが見受けられます。

次の15ページ以降に関しては、市が所有している施設の利用状況となっておりますので、参考にしていただければと思います。資料3に関しましては、統計データからみる石岡市の現状をご説明させていただきました。

続けての説明になりますが、資料4の市民会館に関するデータ等について2ページの石岡市民会館の担ってきた役割ということで、石岡市の文化芸術活動拠点としてだけでなく、市民活動の拠点としてもいろんな施設でございました。文化活動の発表の場や日頃練習の場、その他は多くの市民が集まる会場として、長きにわたって利用されてきました。

次に4ページですが、旧市民会館が整備された時代背景は、昭和40年代の第2次ベビーブームにより、人口が増加していた時代になります。2ページ以降は旧市民会館の施設構成が記載されています。

次に11ページになります。市民会館のホールの月別の利用者数となっております。平成30年度は年間で29,844人が利用しています。月平均2,487人となっております。10月の利用は突出しておりますが、石岡市文化協会主催による文化祭、市内小中学校の合唱コンクール等の利用が多かった時期ということで10月が突出しております。

次に13ページですが、平成30年度ホールの時間帯別利用状況に関しましては、午前が37.4%、午後は40%、夜間は22.6%の利用がありました。

次に14ページですが、ホールの利用者、団体については教育関連団体が44.7%ということで半分近く占めているということがわかります。

次に16ページですが、こちらは市民会館として事業を行った自主事業の実施状況となります。令和元年、平成30年、平成29年の3年度分を記載しており、事業を行った収入と支出の差になります。こちらに関してはすべての事業で赤字という実施状況でした。

次に17ページですが、赤字部分補填についての説明になります。石岡市民会館事業基金より自主事業として、1,000万ございましたが、赤字の補填については全て一般会計から補填する形で事業を運営していたという状況でした。

次に18ページ以降は、過去3年の歳入歳出状況になります。18ページを見てわかりますように、歳入と歳出を比べると歳出が突出しています。今後、新しい施設になった時に、ソフト面や運用面で多数意見がありましたが、これらについても検討して、いろいろ工夫していく必要があるのかなと考えています。

資料4に関しましては、旧新会館に関するデータを取りまとめています。

最後に参考資料として、文化庁が調査している数字で見る文化芸術活動という調査があ

ります。今後、審議の検討材料として活用できればと思いますので、資料を提供いたしました。説明は以上になります。

#### ■会長

これらの資料に基づいて審議を進めていければと思っています。資料に関してご質問等があればお願いいたします。

#### ■委員

座席数について、旧市民会館は第2次ベビーブームのときに作られた建物で座席数が965席ありました。パブリックコメントでも座席数についても意見がありました。資料4の16ページで入場人員や公演数等はわかりますが、1回当たりの講演でどれくらいの座席数を利用していたことがわかる資料があれば今後、ホールの座席数を検討する上で参考になると思います。

次に旧市民会館の使用料はどのように活用していたのか。また、新しい施設の使用料はこれから検討していくことでよろしいですか。

#### ■事務局

1回当たりの講演でどれくらいの座席数を利用していたことがわかる資料や旧市民会館の使用料がどのように活用していたのかについては取りまとめた上で、提供できたらと考えています。新しい施設の使用料に関しては、施設の整備と合わせて検討していきます。

#### ■会長

座席数について最大に合わせて施設を建設すると、費用対効果がよくないので、実態に合わせた形のサイズ感が必要だと思っています。

次に公共というのは、どうしても無料というイメージがあり、その部分を払拭しないと、財政的に厳しいと思います。資料4の18ページの棒グラフを見ると、歳出が歳入を大幅に超過しているので、受益者負担等が必要になってくると思います。

#### ■委員

パブリックコメント等でも文化に対してお金をかける必要があるのかという意見がありました。私は文化を考えるときに、日本国憲法25条の国民の生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）であります。日本国憲法25条に関しては国民健康保険というように健康に関して保障してきました。また、最低限の生活は、生活保護制度で対応してきました。しかし、文化については、戦後、何十年も対応するところがあまりなく、文化芸術推進計画によって、国民に対して文化を保証するという動きになってきました。今までの市民会館の運営というものは、文化面で重視されていなかったのではないかと思います。例えば市職員の配置情報状況3名体制、正職員2名、会計年度任用職員1名で、市民会館を活用して運営していけるのかなと思います。そういう面で石岡市も文化に対してあまり重要視してこなかったという、歴史はここでも挙がっていると思います。これか

ら新しく作る複合文化施設をどう活用して運営していくのかによって、その状況が変わってくると思います。

市民会館の使用状況について、平成29年度、平成30年度、令和元年度の映画鑑賞会は施設も古くなってきて、活用しやすいのは映画観賞会なのかなと思いますけど、運営する、経営するという観点から考えたら他にもやり方があったのではないかなと思います。過去のデータを基に考えていくことも必要だと思いますが、これからの複合文化施設のあり方とともに、新しい運営体制等のソフト面を練り上げていくかによって、状況が変わってくるのかなと思います。

#### ■事務局

今回、箱物を作って終わりというようなものは当然、想定していません。施設をどう活用していくのか、ソフト面の重要性を感じています。事務局としても他市町村に先進視察に行き、常陸太田市や坂東市に聞き取りを行っています。もちろん小美玉市みの〜れにも視察に行っています。そういう部分では、施設を作って終わりということではなく、施設として、市民を巻き込んでいくような仕組みを積極的に行っていきます。

今回、整備する複合文化施設に関しても、良い面は取り入れていきたいと思います。その中で皆さんのご意見をいただきながら、良いものを作っていければと思います。

#### ■委員

座席数について話がでていましたが、今までの旧市民会館の利用者数から1,000席も不要ではないかという意見もあると思います。また、これから違うテーマで、文化に影響するようなイベントを行うことであれば、席数数を増やしても良いのかなと思います。運用についてはソフト面になるので、今後検討していく必要があります。

#### ■委員

基本構想（案）の中で、県南地域の特色あるホールを目指すとありますが、ソフト面やハード面がある程度決まらなければ、施設構成が全くできないと思いますし特色ある施設を作っていくのは難しいと思います。

#### ■事務局

現時点ではソフト面、ハード面や何を持って石岡市らしい施設なのかについては決めていません。例えば、坂東市のベルフォーレという施設は音楽ホールに特化しています。音響が素晴らしいということで、遠方から利用や収録にも利用されています。このようなハード面で特色ある施設と伝えても良いと思いますし、運用面で石岡市らしさを伝える方法もあると思います。現時点で基本構想の中で決めていくものではありませんが、委員がおっしゃったようにソフト面やハード面がぶれてしまったら、良いものが作れないということがありますので、そこも踏まえた上で事務局としても、意見を出していきたいと考えています。

#### ■会長

具体化していくことで、様々な課題が見えてきますので、次回以降議論していきたいと思えます。

それぞれの施設がどのような特性を備えているのか、施設規模、施設のコンセプト、施設のソフト面も非常に大事だと思いますので、次回までに整理していただければなと思えます。また、委員は最新の情報を持っていますので、お手伝いをしていただきたいと思えます。

#### ■委員

座席の性能について地震が起きたら、座席を移動させて、避難所にできるような、フレキシブルな設計をしている施設があったので、固定席で作った場合には利用する条件が限られてしまいます。また、主催者側も座席の半分も埋まってない状況でイベントを実施するより、座席数を変更し満席の状態イベントを実施すれば、主催者側としても気持ち良くイベントを実施できるのではないかなと思えます。座席数を減らすことで文化を受け入れないという訳ではありません。そこで可動式であればあらゆる可能性があるのではないかと提案をします。

ホールの稼働率21.6%について、ホールを運営する人の意見を聞きたいですね。また、これから作るホールについては、いろいろな使い方や何をやっていくのかを検討していく必要があると思えます。

#### ■事務局

座席の機能についてはロールバックタイプで平場として使えるようなホールということですが、こちらに関しては現段階で座席は固定でなければならない等は決まっています。こちらに関しては使い方と合わせて検討していくという形になってくると思えます。どのような施設を考えて使っていくのかということも合わせて、皆様のご意見、先生をはじめとする専門的な意見が必要になってきますので、よろしくお願いいたします。

#### ■委員

旧市民会館は、第2次ベビーブームにできたもので、現在は人口も減っています。人口や財政規模等に合わせて建設していると思えます。今までの話の流れからだと座席数が少ない施設になるような気がします。過去のやり方では無理でしたが、現在はどのようにすればよいのか検討してみることも必要だと思います。

市民が求めているニーズ、文化活動している団体は実際どのような場所を要望しているのか、現在の中学校の部活動はどこで発表しているのか等のデータがあればいただきたいと思えます。

#### ■事務局

市民が求めているニーズ等のデータにつきましては、今後お示しできるようにいたします。

■委員

現在の人口の実態や旧市民会館がどれくらいの頻度で利用していたのかを基に検討するとどうして小さい規模の施設になってしまうのが、もったいないと思います。これから作る施設として市内、市外の方に利用してもらえる施設を目指すのならば規模を大きくしても良いのではないかと思います。

満足度調査の回答の中でちょっと不満という回答した層があり、何がちょっと不満なのかと聞くと、文化芸術に触れる機会がないという回答がありました。私としてはそこに対して何かできることはないか、それこそ新しい施設で行うべきではないかと思っています。市民が文化芸術に対して興味、関心を持てる施設になれば良いと思います。

■事務局

施設整備、運営等に対してどのようなやり方が良いのか検討していきたいと思っています。

■委員

文化協会の会員も年々減少している状況です。今後は利用する回数も減少していくと思いますので、新しい施設はコンセプトを持つ施設でなければならないなと思います。

■事務局

施設内容や使い方等については今後、検討していきます。

■委員

現状として石岡市民の文化に対する欲求はどこで解消されているかが不透明だからこそ、新しい施設は必要だと思います。

■委員

新しい施設は市民が文化芸術に対して興味、関心を持てる施設、子連れの人が気軽に来ていただける施設であって欲しいです。魅力ある施設であれば、市内、市外からの利用者数が増えていきますので、そのような施設になって欲しいです。

■委員

座席数については1,000席がボーダーラインだと思います。人口減少に伴って小さい規模にしていくのであれば、1,000席は要らないと思いますが、1,000席より座席数を減らしてしまうと市内外からの外貨が獲得できないので、赤字はずっと続いてしまうと考えています。1,000席以上のホールになりますとイベントができる内容や規模が変わってきますので外貨を獲得するっていう意味では、収益性の大きいような事業をやってくれるような方が来てくれるような魅力あるホールでなければいけないなと思います。

建設候補地についてはこれから決定していくと思いますが、石岡駅近くであれば、JR常磐線の沿線で一番駅から近い特徴のあるホールができるのではないかなと思います。

■事務局

石岡市として複合文化施設をどのように利用していくのかをしっかりと検討していく上で、施設のソフト面やハード面、施設の在り方を検討していければと思います。

■会長

具体的な話は3回目以降になります。事務局として説明はございますか。

■事務局

その他について、説明させていただきます。今回はグループに分かれて、グループごと  
にいろいろ討論、意見を出し合ってもらい、まとめたものを、皆さんの前で発表してもら  
うという形を取りたいと思います。できるだけ皆さんが意見を出すことができ、時間を  
あまりかけないようにしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

■委員

県南地域だけではなく、他の施設の成功事例や利用率が高い施設、収益率が高い施設  
データがあれば教えてください。

近くに茨城空港があり、海外から見る日本文化というのは地元の人以上に、海外の人の  
方が興味を持っています。建設するときはイメージに入れておいていただければと思いま  
す。また、私が思っている文化と皆さん思っている文化は違うかもしれませんが、アニメ  
やゲームが日本文化なのかと思います。次の世代の日本の文化を先取りすれば、海外の需  
要にも応えられる施設になるのかと思います。

■事務局

日本らしい文化を取り入れていくというのは可能性として否定はしていません。現時点  
では構想段階ですべての可能性を否定しない状況ですので、よりよいものを取り入れたいと  
思います。

■委員

運営について基本的にパッケージ型を購入して運営していくのは採算をとるのが難しい  
と思います。石岡市として、どのように施設をプロデュースしていくのか考えて欲しいで  
す。

■事務局

基本構想の中でもあります。事業のあり方については、公共型、パッケージ型、自主  
制作型とありますが現時点では回答はできません。各々メリット、デメリットがあると思  
いますし、次回以降、皆様話し合いの中で、どのようなものが良いのか考えていきたいと  
思います。

■副会長

まちづくりの一つとして複合文化施設を考えていきたいと思っています。特に中心市街地の活性化です。基本計画はありますが、なかなか進んでいない状況です。ご存知のように人口が減っている状況です。複合文化施設を建設することで、これらの問題が全て解決するわけではありませんが、何か理由の一つのきっかけとして、皆さんと議論していければいいなと思っていますのでよろしくをお願いします。

■委員

ホールのみのお話だったので話を整理したいのですが、今回、建設するのは複合文化施設でよろしいでしょうか。

■事務局

今回、施設設備を推進しているのは複合文化施設になります。この事業の成り立ちが旧市民会館の老朽化により、閉館したところから始まっていますので、旧市民会館が担ってきた役割であるホールの部分を整備します。併せてどのような施設を集約しどのような施設機能についても検討していきたいと思えます。

■会長

事務局より次回の日程の説明をお願いいたします。

■事務局

事務局より次回の日程につきまして、お知らせをいたします。次回の審議会ですが、7月27日（木）午前10時より市役所201会議室にて、開催を予定しております。御多忙中のところとは思いますが、ご出席のほど、よろしくお願いいたします。

■会長

ありがとうございました。以上で、本日の議事を終了いたします。これ以降の進行は、事務局をお願いします。

■事務局

以上をもちまして、令和5年度第2回石岡市複合文化施設整備審議会を終了いたします。石岡市複合文化施設整備の基本計画の策定に向けて、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。